

地域経営をリードするための 人材マネジメント部会

The Study Group Of
Human Capital Management
In Local Government, Organization
2006-2020

地方創生時代の
職員・組織を育て、創る



地方創生の本丸は、「人材」「組織」。

構想力・行動力を持つ人材と、アイデアを地域の成果に繋げることができる組織の双方が不可欠



人材マネジメント部会が果たす役割

地域の持つ可能性を発見し、従来の枠にとらわれない発想でそれらを強力に活かしていく地方創生時代の職員・組織を創る

Keyword1

立ち位置を 変える

相手の立ち場
から考える

Keyword2

価値前提で 考える

ありたい姿
から考える

Keyword3

一人称で 捉え語る

何事も自分事
として考える

Keyword4

ドミナントロジック を転換する

過去や前例に過度に
囚われずに考える

そして、一步前に踏み出す

同じ思いをもつ仲間とともに、挑戦をつづけていく

■ 人材マネジメント部会 概要 ■

主な研究課題

- ① 職員の努力を、地域の成果へつなげられる自治体をどのように実現するか ⇒ **組織課題**
- ② 生活者起点※で発想し、関係者と共に未来を創っていく職員をどう育てるか ⇒ **人材課題**

■ この部会はいわゆる「研修」の場ではありません。1年間の参加を通じ、所属自治体・団体が抱える現実の課題を見極め、どう対処するかを実践的に研究することを求めています。

一般的に「研修」では参加者自身の学びを目指しますが、本部会は経営層に対する「参謀」のような目線で考え動くことを通じて、組織変革と人材成長を同時に実現することを目指しています。

3つの特徴

- ① 自治体・団体ごとに**3人1組**のチームで参加
- ② 現実の組織課題を解決する**実践と学び**
- ③ 全国に広がる参加者・経験者の**ネットワーク活用**

■ 計5回の研究会や夏期合宿への参加を通じて、知識の記憶ではなく、自らで考え方語り合い、実践を振り返る中から“現実を変える”策を発見していきます。

3人が1組のチームとなり、毎回の研究会で出される課題に取組むと共に、現実の組織を変えるために、動きながら更に考え、仲間と共に深い気づきを得ていくことを期待します。

※1自治体で複数チームのご派遣も可能です（最終ページご参照）

部会への参画を通じて、一步前に踏み出す！

立ち位置を変える

⇒ 生活者起点で物事を考える

価値前提で考える

⇒ ありたい姿から、今を考える

一人称で捉え語る

⇒ 自分事に引き寄せて考える

ドミナントロジックを転換する

⇒ 誤った「思い込み」を捨てる

より望ましい組織を目指した
変革のシナリオを策定し
チーム一丸となつて提言する

経営管理層

志・ビジョン
優先順位付け
思いの浸透

職員層

誰にも寄り添える心
力強いチームワーク
プロとしての誇りと厳しさ

地域の幸せと発展に
貢献し続ける組織へ

部会とは

基本的な3つの考え方
「研究会」である意味

習得が期待される3つの技術

ダイアログ(対話)

ファシリテーション

プレゼンテーション

- ① 研修会ではない、現実を変える策を考える「研究会」である
- ② 教えてもらうのではなく、「自ら考え、見つけ出す場」である
- ③ 知識は後からでも学べる、「対話から気づきを得る場」である



< 参加者の声 >

■ 2013年度 長野県塩尻市参加者 鳥羽 嘉彦さん (前・総務部長)

～市民から貰う「ありがとう」の言葉が私たちの勲章～
私が参加した年に市長に提言し作っていました。
「塩尻市経営理念」です。
地方創生に向けて、「自分も何かをしなくては」と覚醒した部会でした。



■ 2014年度 岩手県一関市参加者 松谷 俊克さん (まちづくり推進部)

いまは大きな過渡期。古い枠を壊して、「チェンジ」することが必要な時代です。
部会に参加し、職務や自身自身と深く向き合いました。今、組織の中で仲間と行動を繋げながら『「チェンジ」の種になれる』と信じることができます。

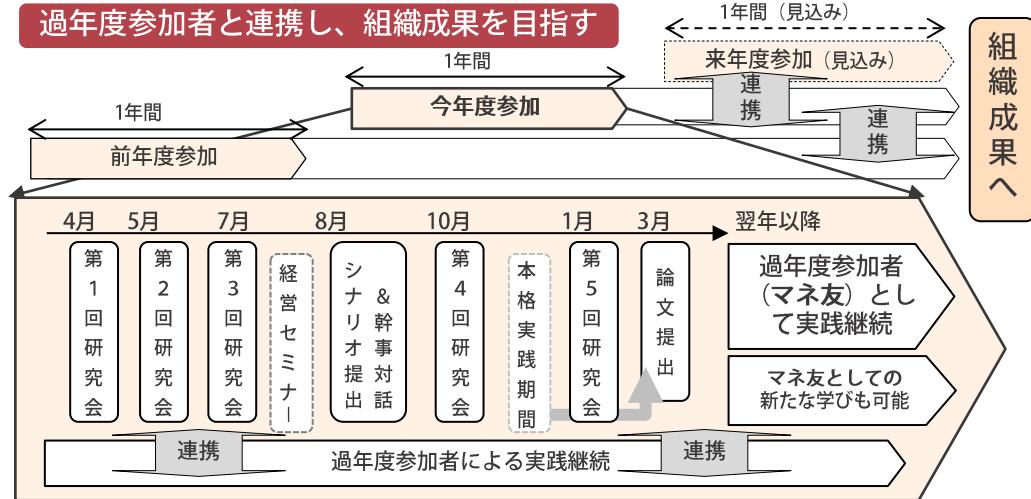


■ 2014年度 熊本県熊本市参加者 中村幸香さん (健康福祉局指導監査課)

子育て中の女性のみなさん、組織や地域の「ありたい姿」を考え抜くこの部会に参加してみませんか？
仕事と育児の両立で悩んだ経験の中には、組織をより良くするヒントが。仕事も育児も楽しめる組織づくりを、ぜひ一緒に！

■ 部会活動日程と複数年次の連携 (マネ友との連携)

過年度参加者と連携し、組織成果を目指す



「部会に
卒業は無い」

部会では1年間が一つの区切りですが、「地域のために自治体組織をよりよく変えていく」「そのために部会経験者として今後も貢献を続ける」との気持ちを共有したいと考えます。最終研究会では「部会に卒業は無い」というフレーズにその思いを込めて締めくくります。

各研究会・合宿のテーマ ※2019年度 実績

第1回研究会	・部会への理解を少しづつ深める (目指すこと、価値前提への理解)
第2回研究会	
第3回研究会 (2日間)	・実践的な研究活動を通じた学び・気づきを深める (ドミナントロジックの自覚、立ち位置を変える、一人称)
シナリオ提出	
第4回研究会	
第5回研究会 (2日間)	・学び・気づきを総括する (一步踏み出す勇気)
共同論文提出	

※2019年10月7日に経営層・新規自治体向け「行政組織経営の本質とリーダーシップ」(佐賀市副市長白井誠氏ご登壇)を開催し、経営層の皆様にご参画いただきました。

開催会場 ※2020年度 開催予定

創設当初は東京会場のみで開催
→近年は参加数が増え、旅費負担を考慮
→ 地方会場開催を拡大

- ▽全5回の研究会 日程・開催地
 - ・第1回 (4月、日帰り) 東京・福岡・仙台 計5会場 ①
 - ・第2回 (5月、1泊2日) 東京一斉開催 ②
 - ・第3回 (6-7月、日帰り) 東京・福岡・仙台 計5会場 ①
 - ・第4回 (10月、日帰り) 東京 8会場 ③
 - ・第5回 (翌1月、1泊2日) 東京一斉開催 ②
- ※どの会場・日程に参加するかは事務局指定
- ※東京五輪の関係で6月下旬-7月上旬に実施

幹事団で議論した結果、改めて当部会が大事にする原点
「非日常での学びと実践」「研修ではなく研究」に立ち返り、
2020年度は東京会場を中心に開催

- ①東京・福岡・仙台計5会場
 - ・JR東京駅/[地]日本橋駅 最寄会議室
 - ・JR仙台駅 最寄会議室
 - ・JR博多駅 最寄会議室
- ※もしくは、早稲田大学教室
- ②東京一斉開催=[地]早稲田駅 早稲田大学キャンパス
- ③東京 8会場 =[地]日本橋駅
- ・WASEDA NEO (コレド日本橋5F)

※ マネ友…過年度参加者が翌年以降も各会場に参加し、地域経営を推進するリーダーシップを学び続ける制度。会場運営責任者である幹事団の補佐役として各会場の課題発見・解決に尽力することや、幹事団からの個別コーチングの機会を通じて、組織と地域の更なる発展に向けて貢献できる人材へと、主体的にステップアップいただくことを期待しています。

■ 部会顧問・部会長からのお挨拶



「地方創生第2期」を迎えて、地域の自立が求められていますが、それを推進するのは、「人」です。

中央集権での「指示・通達待ち型」から、「問題発見・解決型」の人材育成への転換が急務です。

地域が自立し、そのことに真正面から向かいあって、地域主権を確立する目的で人材マネジメント部会を立ち上げました。

分権から創生へ。理論の時は過ぎて、実践の時です。この一年間の勉強が来年、あなたの職場で実現することを願っています。

共に頑張りましょう。

北川 正恭

早稲田大学名誉教授
早稲田大学マニフェスト研究所
人材マネジメント部会顧問



出馬 幹也

人材マネジメント部会部会長
プロネシス・インスティテュート
株式会社代表取締役

地域が持つ可能性を発見し、従来の枠にとらわれない発想でそれらを強力に活かしていくことが求められる時代です。

産学官が一丸となって持てる強みを結集し、希望の持てる地域の未来を創造していくエネルギーはまさに「自治体職員の志」から生まれる、と私は考えます。

単なる前例踏襲や縮小均衡に陥ることなく、明るく前向きに「ほんとうの笑顔」を拡げていけるリーダーと、そのような人材が自然に育まれる経営型の組織をこの国全体につくりたい…その情熱を胸に、本年度も私達はこの部会で実践研究を続けていきます。

多くの自治体職員のご参集をお待ちしております。ご一緒に頑張りましょう。

■ 部会 運営体制

(役職名称等は2019年4月現在)

□ 部会長 出馬 幹也 (いづま・みきや)



プロネシス・インスティテュート株式会社
代表取締役、地域経営推進センター理事

1962年三重県出身、名古屋育ち。1986年筑波大学卒。富士ゼロックスでの変革実績を基に2000年富士ゼロックス総合教育研究所に移り、組織変革コンサルティング事業を立ち上げ。2004年ブリンシパル（役員待遇）就任。政府系専門委員等に活動拡大。2012年4月独立し現在に至る。

□ 自治体幹事



渋谷 浩史
(しぶや・ひろふみ)
静岡県文化・観光部文化担当理事
1962年藤枝市生まれ。税務課研修担当、人事課11年を経て現職。



阿部 勝弘
(あべ・かつひろ)
福島県相馬市 総務課長兼地域防災対策室長
1972年相馬市生まれ。部会は2008年度に市から1期生として参加し、2011年度から幹事就任。



中道 俊之
(なかみち・としゆき)
元岩手県滝沢市経営企画部長
1976年滝沢村役場入庁。経営企画部長、議会事務局長を歴任。2006年に日本経営品質賞受賞に関わる。



緒方 雅一
(おがた・まさかず)
熊本県健康福祉部すまい対策室応急仮設住宅担当
1969年生まれ。人材育成などの部門を経て現職。2011年度に部会へ参加、2013年度から幹事就任。

□ 幹事長 鬼澤 慎人 (おにざわ・まさと)



株式会社ヤマオコーポレーション代表取締役社長
地域経営推進センター理事

1962年茨城県水戸市生まれ。1985年上智大学経済学部卒。第一勧業銀行、ソロモン・ブラザーズを経て、1992年に戸戸戸へ戻り、茨城県大同青果、2000年にヤマオコーポレーションを設立。NPO法人茨城県経営品質協議会理事など、地域づくり、いい会社、いい組織づくり、ひとつづくり（特に若手）を支援。

□ 学究幹事



佐藤 淳 (さとう・あつし)
青森中央学院大准教授
12年間の銀行員生活後退職、早大大学院で北川正恭氏を師事。現在、早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員。

□ 自治体幹事・参与



白井 誠
(しらい・まさと)
佐賀市副市長



佐野 哲郎
(さの・てつろう)
新潟県観光局長

□ 専門幹事



伊藤 史紀 (いとう・ふみのり)
株式会社CoLab 代表取締役

1978年福島県生まれ。製造系ベンチャー企業で人事部門立ち上げなどを経験した後、宿泊業転職などを経て、2010年独立。



■ 加留部 貴行 (かるべ・たかゆき)

日本ファシリテーション協会フェロー

1967年生福岡県出身。九州大学卒業後、西部ガス㈱入社。企業、行政、NPOのセクターの経験を活かした共働ファシリテーションを実践。2011年4月に独立。



丸本 昭 (まるもと・あきら)

元熊本県人吉市企画課長
オンライン・ストレングス代表
1989年人吉市役所入庁。ギャラップ社認定ストレングスコーチ。2019年にコーチ、研修講師として独立。

事務局 中村 健 人材マネジメント部会事務局長
青木 佑一 事務局次長、招聘研究員
中村 紗理子 事務担当

■ 参加団体 107自治体 (2019年度実績)

青森県 むつ市 三戸町／岩手県 花巻市 久慈市 遠野市 一関市／宮城県 登米市 栗原市 東松島市 村田町 柴田町／秋田県 横手市／山形県 鶴岡市 酒田市／福島県 郡山市 相馬市／茨城県 石岡市 龍ヶ崎市 常総市 高萩市 つくば市 ひたちなか市 東海村／群馬県 館林市 沼川市 富岡市／埼玉県 富士見市／千葉県 市原市 山武市 酒々井町／東京都 港区 中野区 武蔵野市 小金井市／東村山市／神奈川県 川崎市 鎌倉市 小田原市 茅ヶ崎市 秦野市 厚木市 伊勢原市 新潟県 新潟県庁新潟市 妙高市 上越市／富山県 氷見市／山梨県 甲府市 富士吉田市 山梨市 莽尾市 甲斐市 笛吹市 市川三郷町／長野県 長野市 須坂市 上田市 大町市 東御市 山形村 小布施町 松本市 諏訪市 駒ヶ根市 辰野町／静岡県 島田市 藤枝市 袋井市 沼津市 熱海市 小山町／愛知県 豊橋市 豊川市 新城市 田原市／滋賀県 長浜市／京都府 八幡市 和束町 大阪府 枚方市 和歌山県 海南市／岡山県 真庭市 美咲町／広島県 三次市／福岡県 大牟田市 筑後市／佐賀県 佐賀県庁佐賀市／長崎県 佐世保市／熊本県 熊本県庁熊本市 人吉市 荒尾市 玉名市 菊池市 天草市 合志市／宮崎県 川南町／鹿児島県 さつま町／鹿児島市 三次市／鹿児島県 大牟田市 筑後市／滋賀県 高島市／京都府 大山崎町／熊本県 熊本県庁川南町／計29都道府県107自治体

■ 有料オプション／参加者は無料診断サービス申込!
2017年度から新サービス「ICP人材力診断」導入
参加者の意識変化を参加前後で可視化します。
部会は「ビジョン設定/動機づけ/プレゼンスキル」など
13項目で意識が向上し成果が出たと評価されました。



※ 交通費・宿泊費についての補助

- 2020年度は、仙台・東京駅内・福岡会場で開催を予定しています。なお、第1回、第3回、第4回研究会は日帰り（日程は事務局指定）。第3回、第5回研究会は1泊2日の予定です。
- 2019年11月現在、来年度は夏期合宿を実施いたしました。第3回は1泊の日宿泊を基本といたします。宿泊場所は各自、ご準備くださいますようお願いいたします。
- ご不明点は遠慮なく事務局までお問い合わせください。

■ お申込みについて

主催団体である一般社団法人 地域経営推進センターのウェブサイトにある登録フォームよりお申込みください。（URL：<http://www.rmpc.jp/>）

参加費 30万円 ※消費税別・旅費別。1自治体1チーム毎。2020年度申込詳細は2020年3月上旬掲載予定。

※ 原則1チーム3名でのご派遣をお願いしております。1名様での参加の場合も上記参加費となります。

※ 1自治体から複数チームのご派遣も可能です（例：2チーム 6名、3チーム 9名。複数チーム割引あり）。

※ 参加費は4月中にご入金ください。お振込先は、参加申込みを頂きました後にご案内いたします。

※ 初当選での編成が間に合わなかった場合に限り、ご入金は6月補正後でお願いしています。

お問い合わせ先（事務局）：一般社団法人 地域経営推進センター 担当：青木、中村（絵）

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋1丁目三井ビルディング5階 WASEDA NEO内 TEL：03-6225-2531

MAIL : manipen@maniken.jp WEB : <http://www.maniken.jp/jinrai/> Facebook : <https://www.facebook.com/manetomo>

VER191107